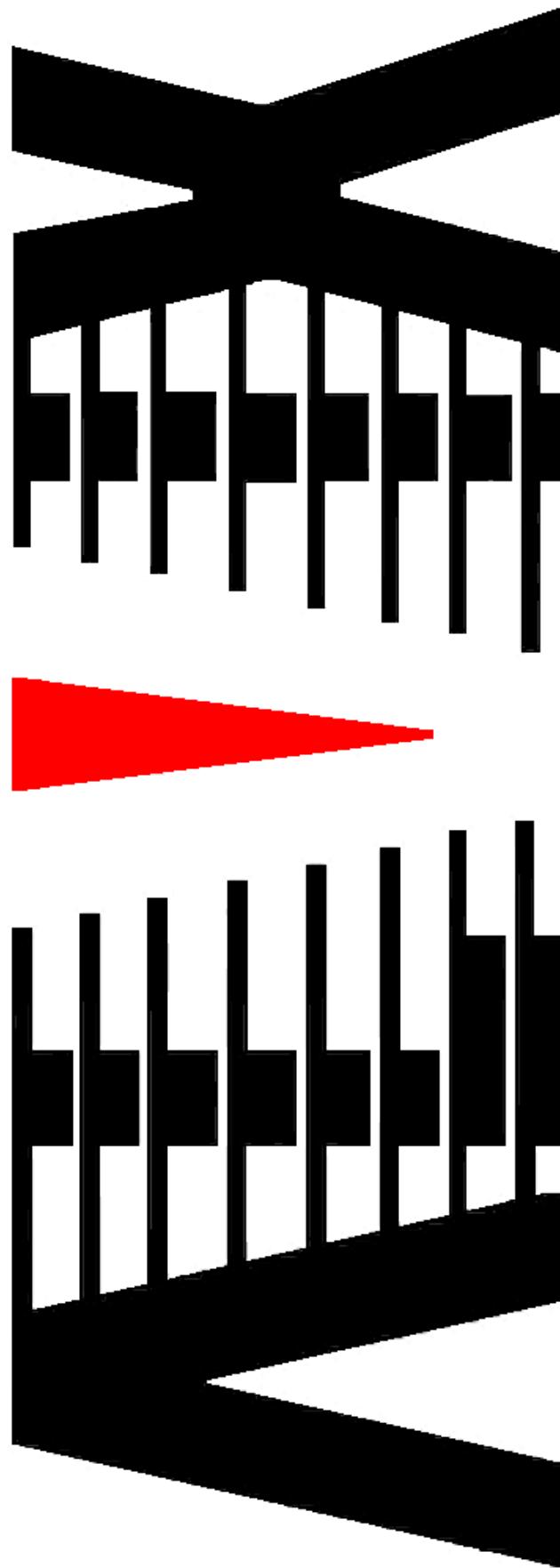


“アルビクス” マルチビューワ MV-500

設定ソフト
取扱説明書

Rev.4



目 次

	ページ
1. MV-500 各種用語説明	2
2. 設定ソフト機能概要	4
3. 設定手順	5
3.1 構成設定	6
3.2 構成設定方法	7
3.2.1 基板設定方法	8
3.2.2 出力モニタ設定方法	8
3.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定	9
3.4 レイアウト・入力 MTX 設定	10
3.5 詳細設定	12
3.6 プリセット登録	13
3.7 レイアウト切替スケジュール	14
4. MV-500 との同期方法	18
4.1 MV-500 オンライン時における設定の同期方法	18
4.2 MV-500 オフライン時における設定の同期方法	18
5. MV-500 設定内部時刻設定	19
5.1 MV-500 時刻設定方法	19
6. 動作レイアウト切替	20
6.1 画面単位の動作レイアウト切替方法	20
6.2 プリセットによる動作レイアウト一括切替方法	21
6.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法	22
7. 入力 MTX の一括設定	23
7.1 入力 MTX の一括設定方法	23
8. レイアウト情報のエクスポート・インポート	24
8.1 エクスポート/インポート方法	24
9. 設定ウィザード	25
9.1 設定ウィザード起動方法	25
10. MV-500 機器状態確認	26
10.1 MV-500 機器状態確認方法	26
11. MV-500 故障復帰設定	27
11.1 MV-500 故障復帰設定方法	27
12. データ構造について	29
13. 出荷時設定について	30

1. MV-500各種用語説明

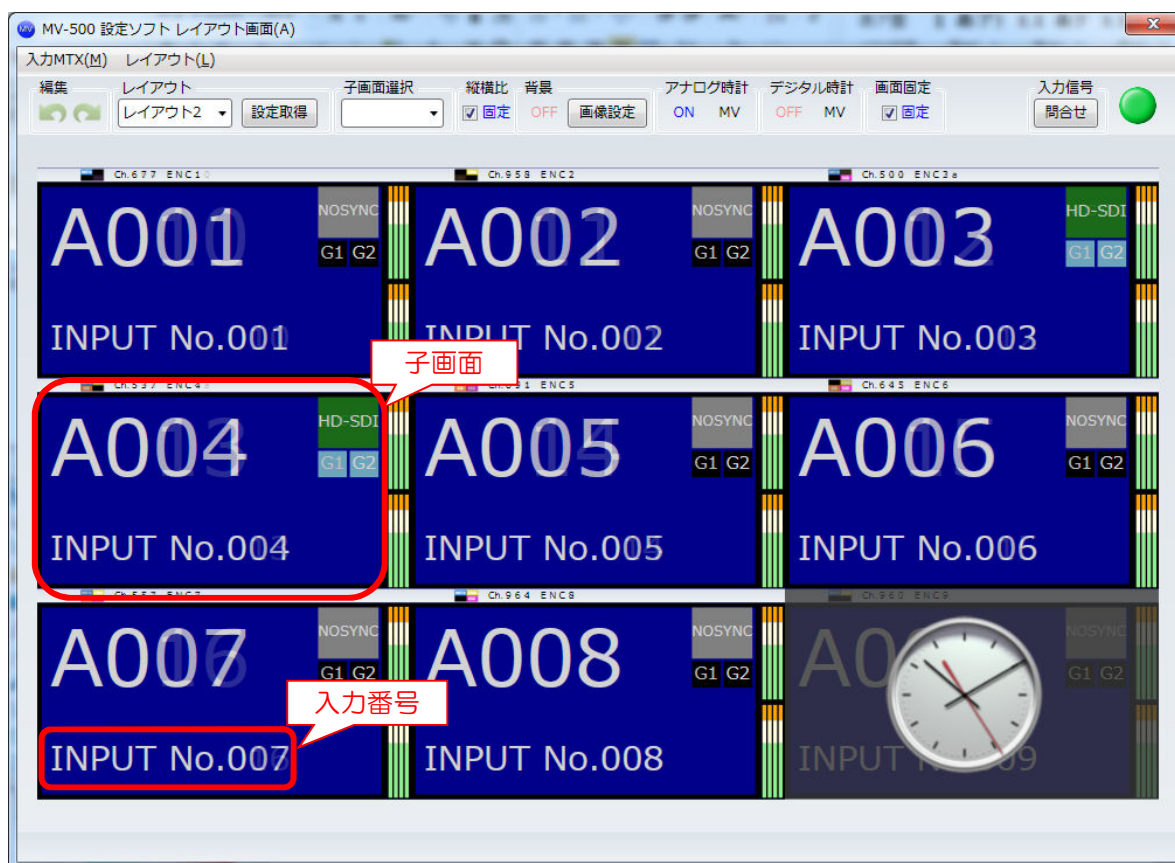
設定ソフトの取り扱い説明にあたり、MV-500 で使用される用語の説明を記載します。



- 画面 (A~H) ・ ・ ・ 出力画面を表しています。画面 A は出力ユニットの出力1の画面を表しています。
- レイアウト ・ ・ ・ 1出力画面毎に8個のレイアウトを保存出来ます。
- プリセット ・ ・ ・ 全画面のレイアウトを一括設定する為、全画面のレイアウト番号により構成されたデータです。プリセットは8個保存出来ます。

プリセットとレイアウトの設定関係

		プリセット							
		1	2	3	4	5	6	7	8
画面	A	1	2	1	1	3	1	1	3
	B	1	2	2	2	2	2	1	3
	C	1	2	3	3	1	3	1	3
	D	1	2	1	4	4	4	1	3
	E	1	2	2	5	3	5	2	4
	F	1	2	3	6	2	4	2	4
	G	1	2	1	7	3	3	2	4
	H	1	2	2	8	2	2	2	4



子画面

- ・・・ 入力映像を表示する為のウィンドウ画面です。
上図のように画面 A に子画面が 8 個ある場合、A001 から A008 と表示されます。
1 つの画面に何個子画面を表示するかの設定は画面子画面数設定となります。

入力

- ・・・ 子画面に表示する映像は SDI 入力 1～120 のどれでも選択出来ます。(入力 MTX 機能)
子画面に表示する入力(1～120)の選択は入力 MTX 設定となります。
また、設定ソフトで入力(1～120)は上図のように「INPUT NO」で表示されます。

レイアウト切替スケジュール

- ・・・ MV-500 の予め登録された時刻に自動でレイアウトを切り替える機能です。

2. 設定ソフト機能概要

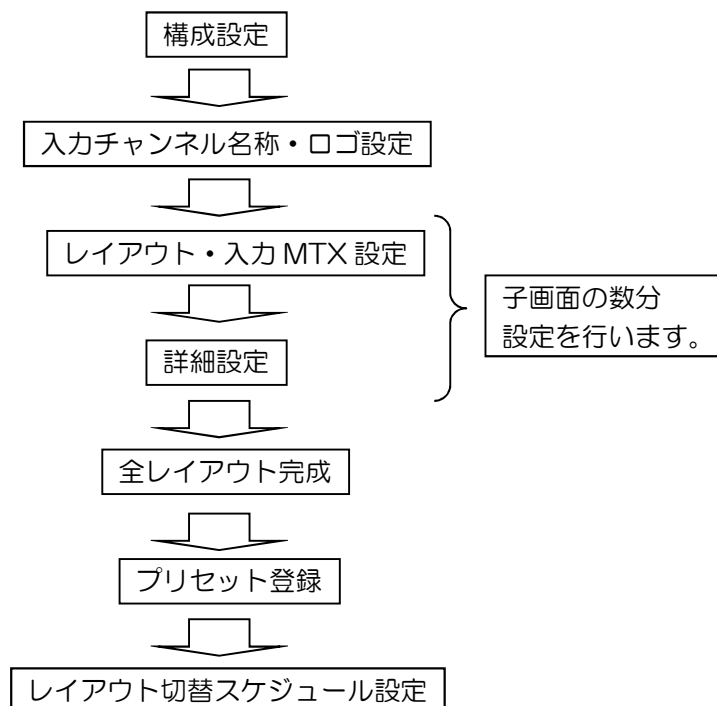
設定ソフトの機能概要を以下に記載します。

- モニタレイアウト設定
出力モニタ数、配置に合わせて設定ソフトの画面イメージを配置します。
- レイアウト・入力 MTX 設定
各画面のレイアウトを設定します。
- チャンネル名称・ロゴ設定
入力（1～120）に対してチャンネル名称・ロゴを設定します。
- MV-500 内部時刻設定
レイアウトに表示する MV 内部時刻設定の時計の表示時刻を設定します。
- 動作レイアウト切替
MV-500 とオンライン状態において、画面単位または全画面一括で動作レイアウトの切替を行います。
- プリセットの登録
プリセットを 8 個登録出来ます。
- 入力 MTX の一括設定
複数の入力（1～120）を一括で設定します。
- レイアウト情報のエクスポート・インポート
レイアウト情報を csv 形式でエクスポート、インポート出来ます。
- MV-500 の状態確認
MV-500 の機器状態を確認することが出来ます。
- レイアウト切替スケジュール設定
レイアウト切替スケジュールを設定します。
- 設定ウィザード
MV-500 の最低限、必要な設定を一連の流れで行います。

3. 設定手順

MV-500 設定ソフトによる設定手順について記載します。

MV-500 の設定手順として以下のように「構成設定」、「入力チャンネル名称・ロゴ設定」、「レイアウト・入力 MTX 設定」、「詳細設定」及び「プリセット登録」の順に設定します。



各設定内容の概要を以下に記載します。設定方法の詳細については以降に記載します。

「構成設定」

使用するモニタ数等の設定を行います。

「入力チャンネル名称・ロゴ設定」

入力（1～120）に対して、名称及びロゴの設定を行います。

「レイアウト・入力 MTX 設定」

画面のレイアウト設定を行います。同時に子画面の入力（1～120）を選択します。

「詳細設定」

子画面のレイアウト設定を行います。

「プリセット登録」

全レイアウトの設定が完了後にプリセットの登録を行います。

「レイアウト切替スケジュール設定」

レイアウト切替スケジュールの設定を行います。

3.1 構成設定

MV-500 のレイアウト設定において、最初に出力画面構成設定を行う必要があります。
出力画面構成の設定内容としては以下の項目があります。

- ・ 基板設定

- MV-500 の基板構成を設定します。

- この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-500 には何も設定されません。

- MV-500 と基板構成が異なる場合、正常に動作しない可能性があります。

- ・ 出力モニタ設定

- 出力モニタの構成を設定します。設定内容は以下の通りです。

- モニタレイアウト設定

- 出力モニタ数及びモニタの配置を設定します。

- この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-500 には何も設定されません。

- 各画面の最大子画面数設定 ※

- 各画面が表示する最大子画面数の設定を行います。

- 出力モニタのアスペクト設定

- 各画面が表示されるモニタのアスペクト比の設定を行います。

- この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-500 には何も設定されません。

- MV-500 の出力モニタのアスペクト比の設定は出力ユニットの DVI 基板のロータリースイッチとティップスイッチにより行います。

- (詳しくは MV-500 取扱説明書参照)

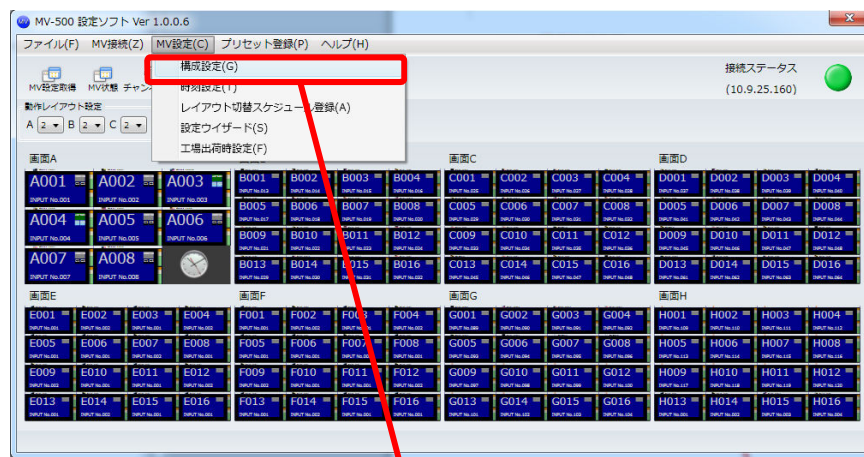
※ 「構成設定」により各画面の最大子画面数を変更した場合、「レイアウト・入力 MTX 設定」により全てのレイアウトの再設定が必要になります。

3.2 構成設定方法

構成設定は構成設定画面より行うことができます。

構成設定画面は Top 画面のツールバーの「MV 設定」→「構成設定 (G)」により表示します。

下記、設定を行なった後、「設定 (保存)」ボタンを押下し、MV-500 へ設定します。



構成設定画面の表示



3.2.1 基板設定方法

手順1. 「基板構成」項目で設定を行います。

スケーラー基板、リア基板及び DVI 基板の構成を設定して下さい。

オンライン時には MV-500 の基板構成で表示されます。

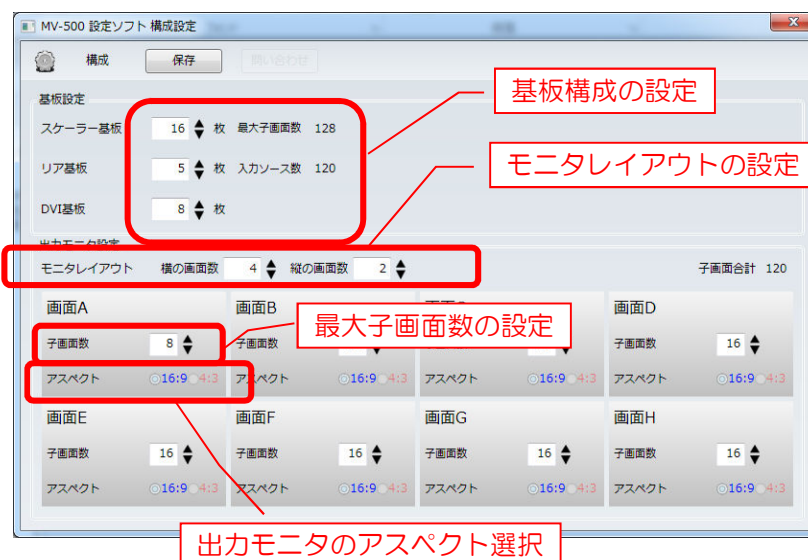
3.2.2 出力モニタ設定方法

手順1. 「出力モニタ」項目で以下の設定を行います。

- モニタレイアウト設定

モニタレイアウトの設定により縦2×横4だけではなく、下図のように縦3×横3のようなモニタレイアウトが可能です。

- 各画面の最大子画面数設定
- 出力モニタのアスペクト選択



縦3×横3のモニタレイアウト設定

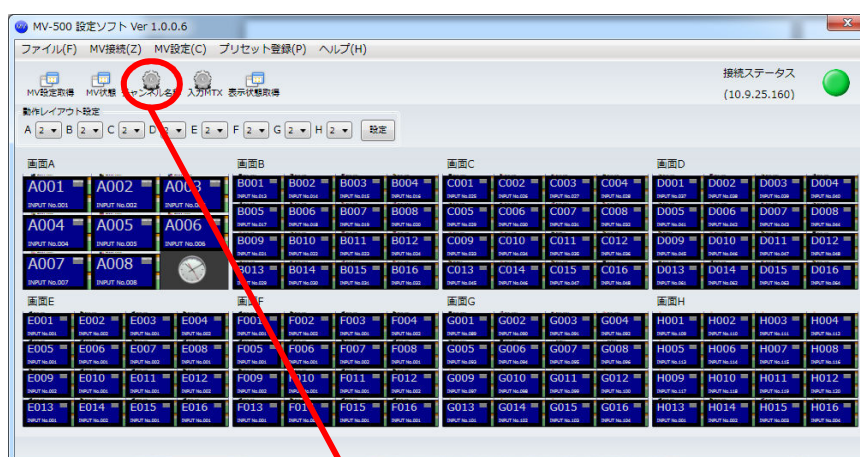
3.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定

下記手順により入力（1～120）に対して、チャンネル名称・ロゴの設定を行います。

手順1. Top画面のツールバーの「チャンネル」よりチャンネル名称設定画面を表示します。

手順2. リストの「ロゴ」「チャンネル名称」「SID」項目にそれぞれチャンネルロゴ、チャンネル名称、サービスIDを入力します。
（チャンネルロゴはイメージをクリックすると画像選択ダイアログが表示されます。）

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500 への設定を行います。



手順 1. チャンネル名称設定画面の表示



手順 3. MV-500 へ設定

手順 2. チャンネル名称・ロゴ及びSIDを入力

3.4 レイアウト・入力 MTX 設定

下記手順により各画面のレイアウト及び入力 MTX 設定を行います。

- 手順1. Top 画面の画面選択画面で設定対象の画面をクリックし、レイアウト画面を表示します。
- 手順2. ツールバーの「レイアウト選択」により、設定対象のレイアウト番号を選択します。
- 手順3. 「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。
- 手順4. 下記操作により、子画面、時計、コメントウィンドウ及び背景の設定を行います。

【子画面】

対象の子画面イメージのドラッグ、矢印キー又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【時計】

ツールバーの「アナログ時計」「デジタル時計」項目、時計イメージのドラッグ又はコンテキストメニューにより設定を行います。

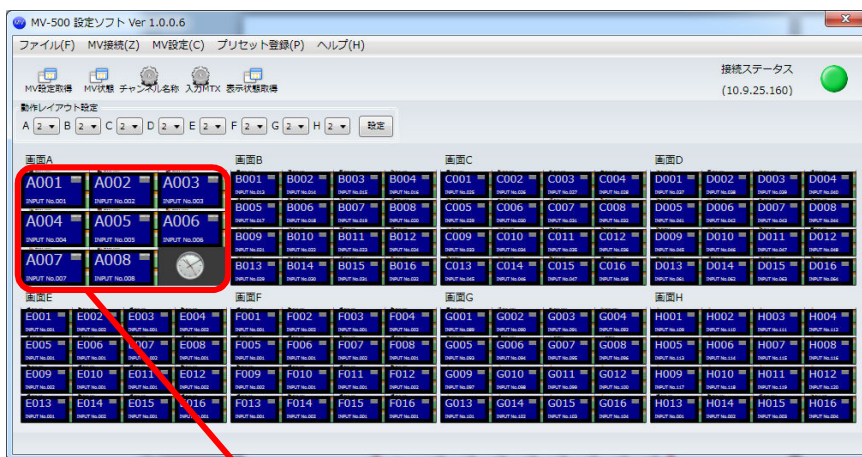
【コメントウィンドウ】

ツールバーの「レイアウト(L)」→「コメントウィンドウ(C)」、コメントウィンドウイメージのドラッグ又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【背景】

ツールバーの「背景」項目により表示 ON/OFF、画像の選択を行います。

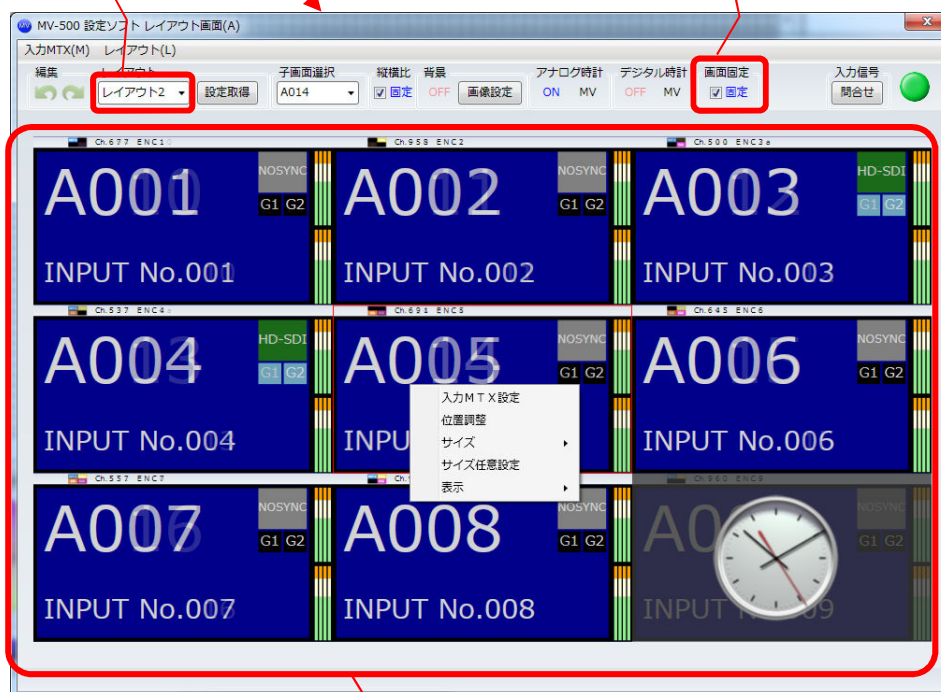
※ レイアウト画面では、設定が変更された時点で MV-500 に反映又は設定ソフトへ保存が行われます。



手順 1. レイアウト画面の表示

手順 2. レイアウト番号の選択

手順 3. レイアウト固定の解除



手順 4. レイアウト及び入力MTXの設定

3.5 詳細設定

下記手順により子画面のレイアウトの設定を行います。

- 手順1. レイアウト画面より設定対象の子画面イメージをダブルクリックし、詳細設定画面を表示します。
- 手順2. 各種設定を行います。
- 手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500 への設定を行います。

※ 詳細設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-500 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。

The image shows two screenshots from the MV-500 software. The top screenshot shows a grid of input channels (A001 to A008) with a red box around A001 and a red arrow pointing to the '設定' button in the detailed settings screen below. The bottom screenshot shows the 'MV-500 設定ソフト 詳細設定画面(001)' window. A red box highlights the '設定' button in the top menu bar. Another red box highlights the main settings area, and a third red box highlights the '設定' button in the bottom right corner. Red callout boxes with arrows point to these elements, labeled '手順 3. MV-500 へ設定', '手順 1. 詳細設定画面の表示', and '手順 2. 各種設定'.

手順 3. MV-500 へ設定

手順 1. 詳細設定画面の表示

手順 2. 各種設定

MV-500 設定ソフト 詳細設定画面(001)

ファイル(E)

編集 設定

設定取得 設定

表示 ON OFF

INPUT No 1

アスペクト 16:9 4:3

サブアスペクト スクイーズ サイドパネル

表示位置

X 0 Y 0

サイズ

W 640 H 360

縦横比を固定する

枠モード

シンプル ノーマル フル

チャンネル表示

チャンネル名称表示 チャンネルロゴ表示

枠色

R 0 G 0 B 0

BASE色

R 0 G 0 B 0

Blink

サブインジケータ(左)

R 0 G 0 B 0

サブインジケータ(右)

R 0 G 0 B 0

表示

エラーインジケータ

状態表示 実行中 プラック 設定済 実行中

入力信号状態

入力有・無 無

入力種別

オーディオ

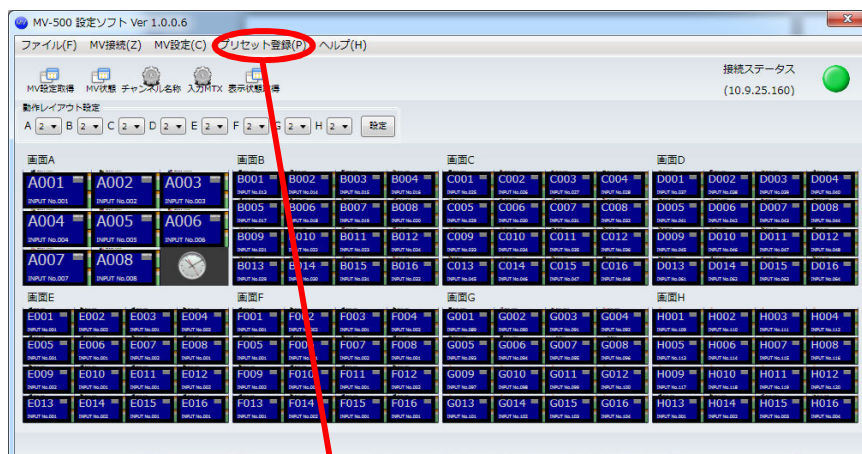
3.6 プリセット登録

下記手順によりプリセットの登録・切替を行います。

手順1. Top画面のツールバーの「プリセット登録」によりプリセット登録画面を表示します。

手順2. リストの各プリセットの画面レイアウト番号を入力します。

手順3. 「登録」ボタンを押下し、保存します。



手順 1. プリセット登録画面の表示

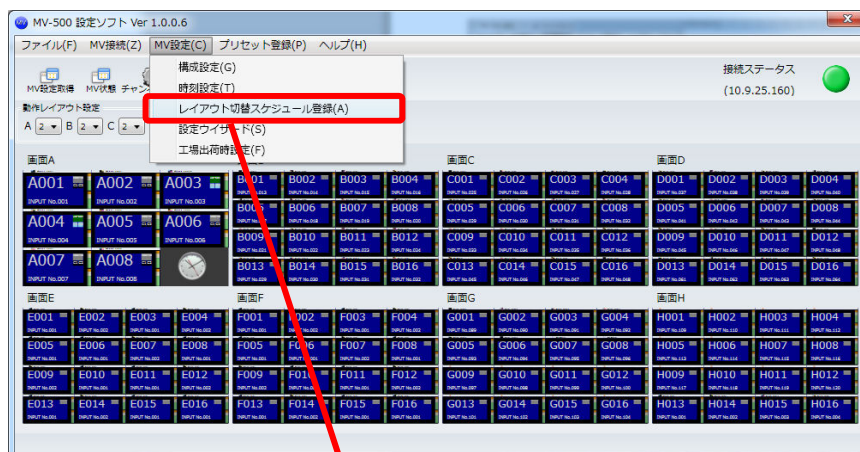


手順 2. 画面レイアウト番号を入力

3.7 レイアウト切替スケジュール

手順1. レイアウト切替スケジュール設定方法

Top 画面のツールバーの「MV 設定 (C)」→「レイアウト切替スケジュール登録 (A)」よりレイアウト切替スケジュール画面を表示し、以下の操作方法により「新規設定」、「登録内容の編集」「登録の削除」を行います。



手順 1. 構成設定画面の表示



新規設定方法

手順1. スケジュール登録でスケジュール内容を入力し、登録ボタンを押下します。

手順2. 入力した内容のスケジュールが登録済み一覧に未設定として表示されます。

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500へ設定を行います。

手順 3. MV-500 へ設定

手順 1. スケジュール内容を入力

手順 2. 登録するデータが表示

登録済み一覧

削除	実行日時	画面A レイアウト番号	画面B レイアウト番号	画面C レイアウト番号	画面D レイアウト番号	画面E レイアウト番号	画面F レイアウト番号	画面G レイアウト番号	画面H レイアウト番号	時計種類	登録状況
<input type="checkbox"/>	2012/04/10 14:05:43	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済
<input type="checkbox"/>	2012/04/11 09:51:28	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済

登録内容の編集

- 手順1. 登録済み一覧より編集対象のスケジュールを選択します。
- 手順2. 「編集」ボタンを押下し、スケジュール登録で編集内容を入力し、「登録」ボタンを押下し編集内容を反映します。
- 手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500へ設定を行います。

The screenshot shows the 'レイアウト切替スケジュール' (Layout Switching Schedule) management window. It includes a 'スケジュール登録' (Schedule Registration) form at the top and a '登録済み一覧' (Registered Schedule List) table below. Red annotations indicate the following steps:

- 手順 1. 編集対象のスケジュールを選択**: A red box highlights the '編集' (Edit) button in the '登録済み一覧' table.
- 手順 2. スケジュールの編集**: A red box highlights the 'スケジュール登録' form, including the '実行日時' (Execution Date/Time) field and layout number input fields for screens A through H.
- 手順 3. MV-500へ設定**: A red box highlights the '設定' (Settings) button in the top toolbar.

The '登録済み一覧' table contains the following data:

削除	実行日時	画面A レイアウト番号	画面B レイアウト番号	画面C レイアウト番号	画面D レイアウト番号	画面E レイアウト番号	画面F レイアウト番号	画面G レイアウト番号	画面H レイアウト番号	時計種類	登録状況
<input type="checkbox"/>	2012/04/10 14:05:43	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済
<input type="checkbox"/>	2012/04/11 09:51:28	1	1	1	1	1	1	1	1	MV内部時計	設定済

登録の削除

- 手順1. 登録済み一覧の「削除」項目にチェックを入れます。
- 手順2. 「設定」ボタンを押下し、MV-500へ設定を行います。
登録済み一覧より削除項目を非表示にする場合は、「削除」ボタンを押下して下さい。



4. MV-500との同期方法

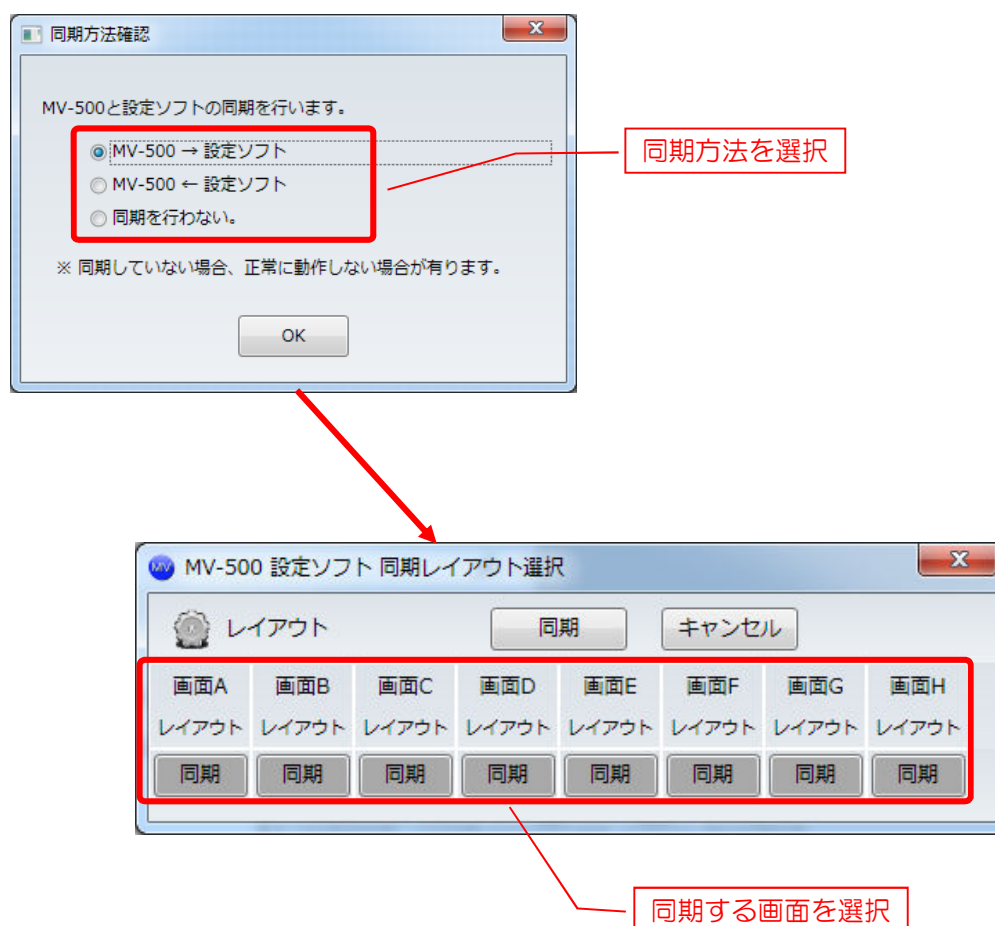
4.1 MV-500 オンライン時における設定の同期方法

MV-500 とオンラインで設定した内容は設定ソフトに保存され、随時 MV-500 と設定され、同期が保たれます。

4.2 MV-500 オフライン時における設定の同期方法

MV-500 とオフラインで設定した内容は設定ソフトに保存されます。

MV-500 へは接続時に表示される下記メッセージで同期方法を選び、MV-500 と同期して下さい。



5. MV-500設定内部時刻設定

5.1 MV-500 時刻設定方法

- 手順1. Top画面のツールバーの「MV 設定(C)」→「時刻設定(T)」により設定を行います。
設定ツールが起動しているパソコンの時刻が設定されます。



6. 動作レイアウト切替

6.1 画面単位の動作レイアウト切替方法

画面単位で動作レイアウトの切替が出来ます。切替手順は以下の通りです。

- 手順1. Top 画面よりレイアウト画面を表示します。
(レイアウト画面の表示方法は「3.4 レイアウト・入力 MTX 設定」を参照下さい。)
- 手順2. 「レイアウト」項目のコンボボックスよりレイアウトを選択することにより、動作レイアウトが切り替わります。



6.2 プリセットによる動作レイアウト一括切替方法

「3.6 プリセット登録」により登録されたプリセットにより、動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面よりプリセット登録画面を表示します。

(プリセット登録画面の表示方法は「3.6 プリセット登録」を参照下さい。)

手順2. 「動作プリセット」項目のコンボボックスより動作レイアウトを選択することにより、動作レイアウトが切り替わります。



6.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法

任意のレイアウトの組み合わせの動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面の「動作レイアウト設定」項目で任意のレイアウトを選択します。

手順2. 「設定ボタン」押下により動作レイアウトが切り替わります。



7. 入力MTXの一括設定

7.1 入力 MTX の一括設定方法

下記手順により、入力 MTX の一括設定が行えます。

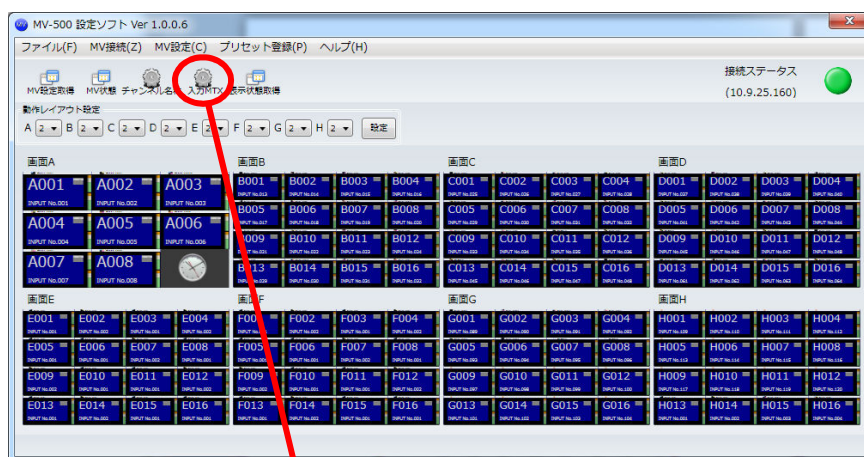
手順 1. Top 画面の入力 MTX のアイコンをクリックし、入力 MTX 設定画面を表示します。

手順 2. 入力 MTX 設定画面の左上のコンボボックスより画面とレイアウトを設定します。

手順 3. リストにより設定対象となる子画面の入力(1~120)を入力します。

手順 4. 設定する子画面分、手順 2、3 を繰り返します。

手順 5. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-500 へ設定します。



手順 1. 入力 MTX 設定画面の表示



手順 4. MV-500 へ設定

手順 2. 画面、レイアウト番号を選択

手順 3. 子画面に入力(1~120)を入力

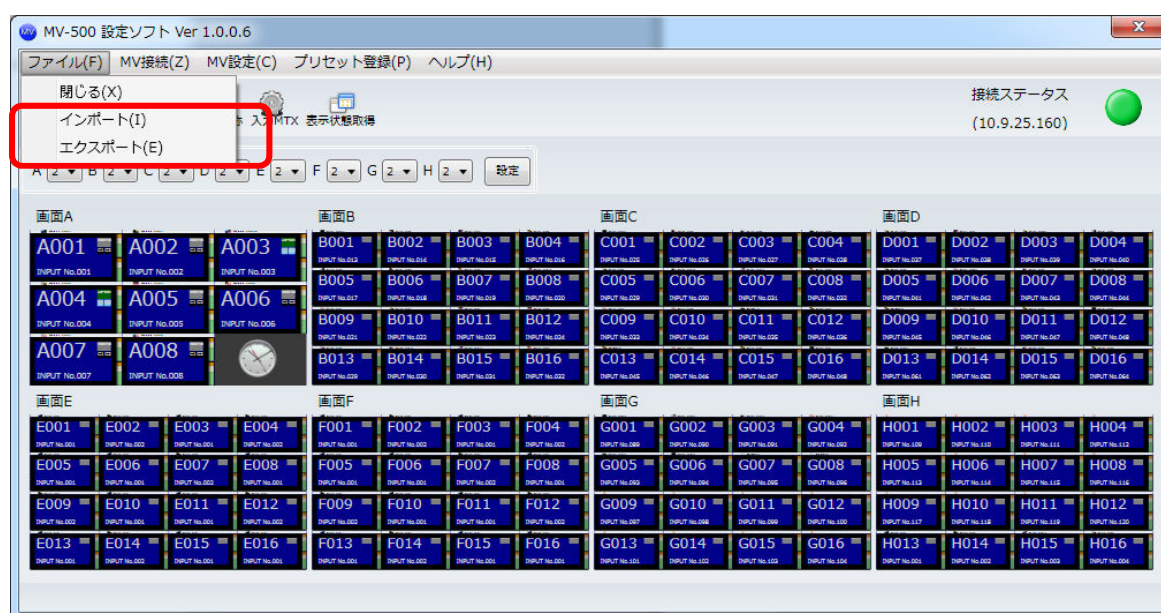
8. レイアウト情報のエクスポート・インポート

設定ソフトで設定したレイアウト情報を csv 形式のファイルにエクスポートすることが出来ます。

また、csv 形式のファイルをインポートすることが出来ます。

8.1 エクスポート/インポート方法

手順1. Top 画面のツールバーの「ファイル (F)」→「エクスポート」または「インポート」より行います。

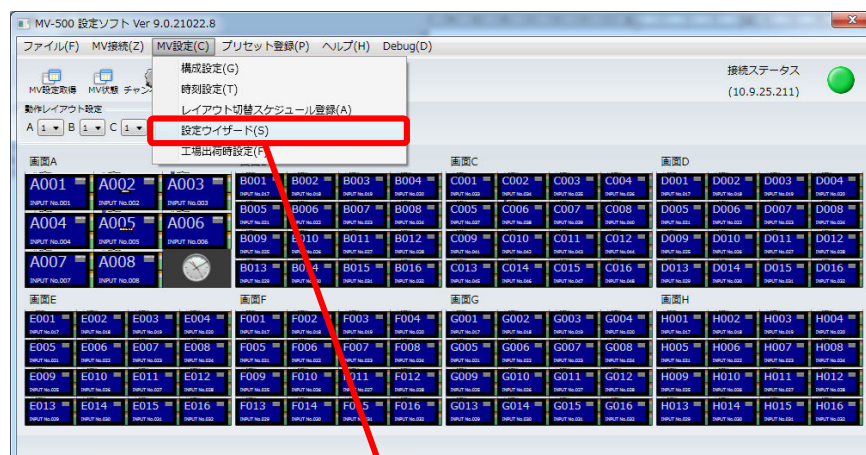


9. 設定ウィザード

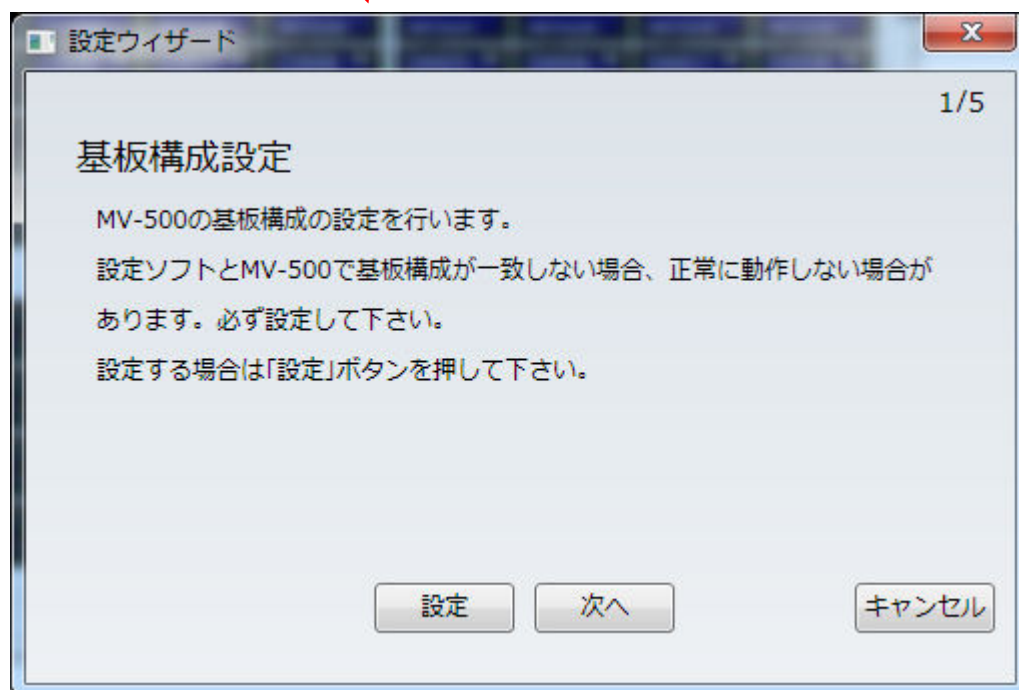
9.1 設定ウィザード起動方法

手順1. Top画面のツールバーの「MV 設定 (C)」→「設定ウィザード (S)」より設定ウィザードが起動します。

メッセージに沿って、設定を行なってください。



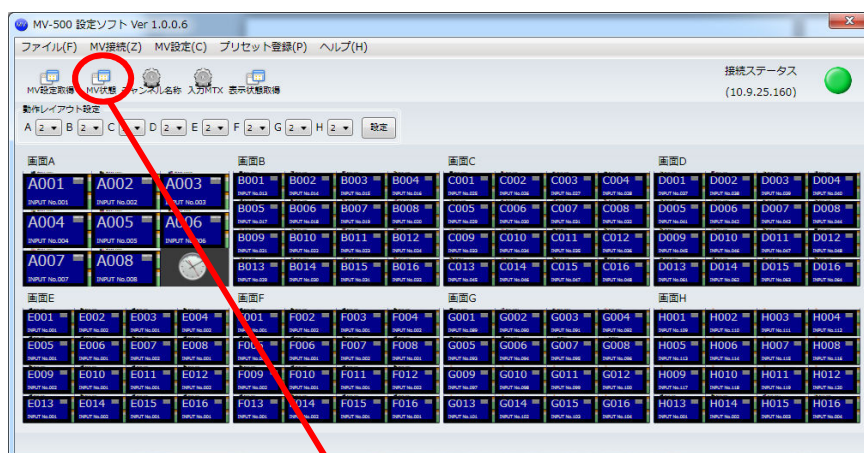
手順1. 設定ウィザードを起動



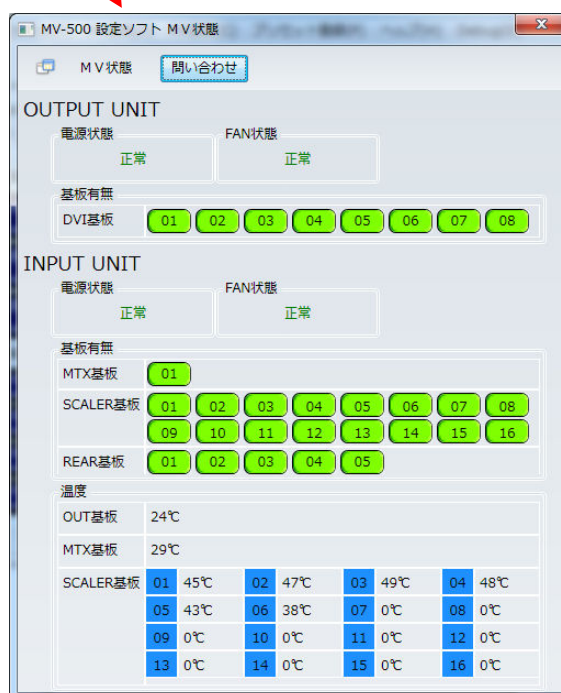
10. MV-500 機器状態確認

10.1 MV-500 機器状態確認方法

手順1. Top 画面の「MV 状態」アイコンより MV 状態画面が表示し、機器状態を確認することができます。



手順 1. MV 状態画面の表示



11. MV-500 故障復帰設定

11.1 MV-500 故障復帰設定方法

MV-500 は以下の基板、コンパクトフラッシュが故障等で新しく付け替えた場合に付け替える前の状態に復帰させる為、本設定が必要になります。

- 入力ユニット
 - In-Out 基板
- 出力ユニット
 - Control 基板のコンパクトフラッシュ
 - Out-DVI 基板のコンパクトフラッシュ

上記以外を付け替えた場合、本設定は必要ありません。

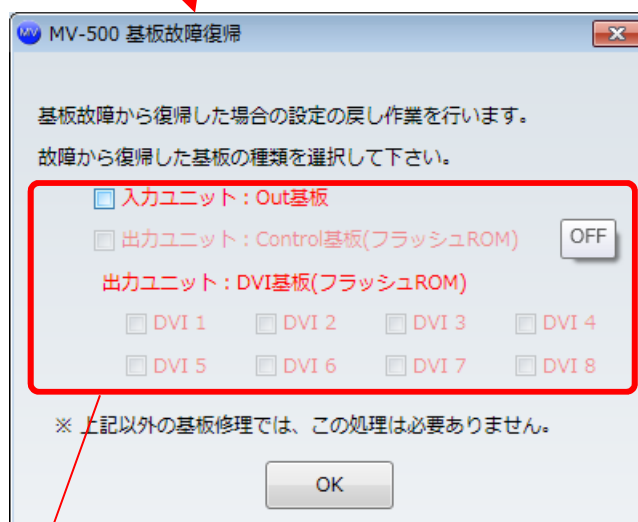
Control 基板及び Out-DVI 基板のコンパクトフラッシュを同時に付け替えると付け替えた Out-DVI 基板の画面を復帰させることが出来ません。

本設定の手順は以下の通りです。

- 手順1. Top 画面のツールバーの「MV 設定 (C)」→「MV 故障復帰設定 (R)」より MV-500 故障復帰設定を行います。
- 手順2. 「MV-500 基板故障復帰」画面より、付け替えた基板、コンパクトフラッシュをチェックし、「OK」ボタンを押下して下さい。



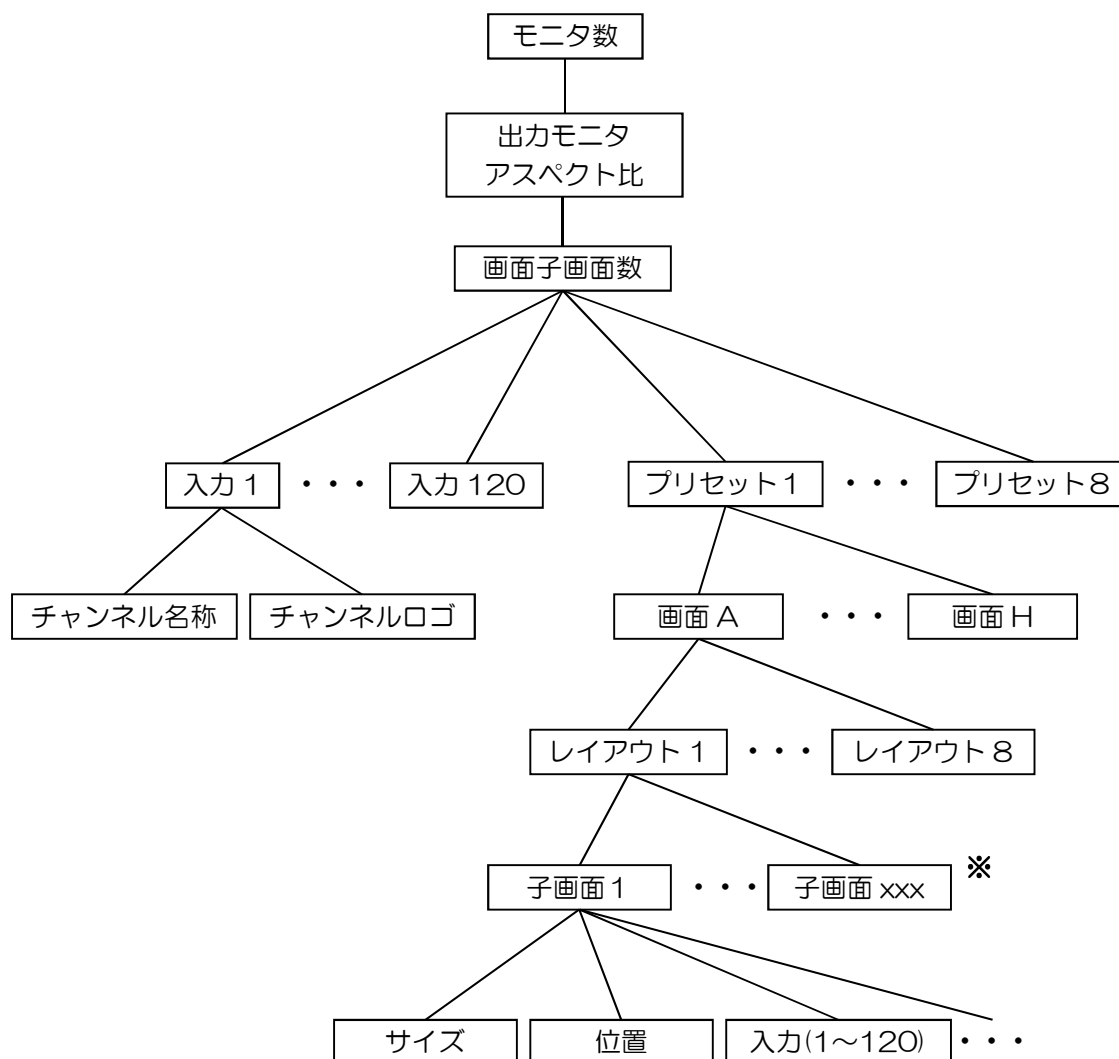
手順 1. 設定ウィザードを起動



手順 2. 新しく付け替えた部品にチェック

12. データ構造について

MV-500 の設定データの構造について以下に記載します。



※ レイアウトの子画面数は画面子画面数設定で設定された数になります。

13. 出荷時設定について

工場出荷時の設定内容は以下の通りです。

- ・ モニタ数
 モニタ数 : 基板構成により設定内容が異なります。
- ・ 出力モニタアスペクト比 【全画面共通】
 出力モニタアスペクト比 : 16:9
- ・ プリセット【全プリセット共通】
 プリセット構成 : 画面 A~H = レイアウト 1
- ・ 画面子画面数 【全画面共通】
 子画面数 : 基板構成により設定内容が異なります。
- ・ 画面レイアウト 【全レイアウト共通】
 子画面の位置、サイズ : 基板構成により設定内容が異なります。
 時計表示 : アナログ時計表示=OFF
 デジタル時計表示=ON
 コメントウィンドウ (1~8) 表示 : OFF
 背景表示 : ON (haikeix.png(x=レイアウト No))
- ・ 子画面レイアウト 【全子画面共通】
 表示 : ON
 アスペクト : 16:9
 サブアスペクト : スクワイーズ
 音声バー表示位置 : 右
 枠モード : ノーマルモード
 チャンネル名称表示 : ON
 チャンネルロゴ表示 : ON
- ・ 入力 MTX 設定 【全レイアウト共通】
 画面 A 子画面 1 = 入力番号 1
 ~
 画面 H 子画面 8 = 入力番号 120
 画面 H 子画面 9 = 入力番号 1
 ~
 画面 H 子画面 16 = 入力番号 8
- ・ チャンネル名称 【全入力共通】
 入力番号 1 =「チャンネル 001」
 ~
 入力番号 120 =「チャンネル 120」
- ・ チャンネルロゴ 【全入力共通】
 ロゴ

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038